

卒業生の声

学ぶだけではなく行動に移せる
ワーキングデイクア“ドリーム”

リワークにきちんと通えるか不安な気持ちがいっぱい通所をスタートしました。毎日15時までのリワークを1週間ほど経験していくと、徐々に緊張もほぐれ、通所が楽しく感じられるようになりました。人間にとって目的を持って生活することがとても重要であると実感させてくれたように思います。

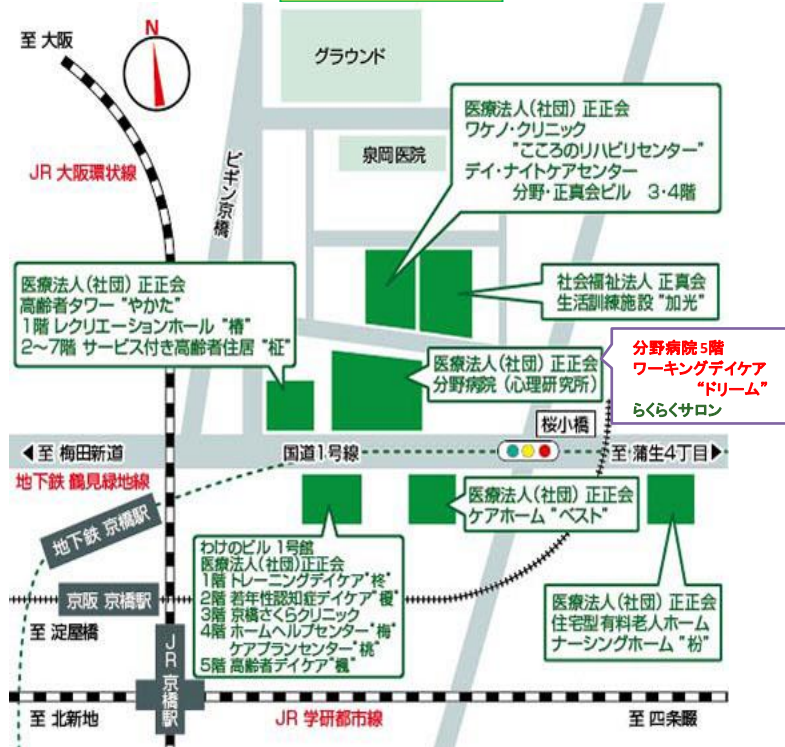
ストレス対処が課題の私でしたが、ドリームの特徴である疑似職場でストレスと付き合いながら働く練習ができ、徐々に自分を受け入れ、気持ちをコントロールしやすくなり、ドリームを選択して良かったと思えました。

ドリームは職場の人間関係を凝縮したような形態で、自分も他者も思いやりながら、復職した際に避けられない人間関係に慣れるための環境を提供してくれました。最適な環境の中で復職準備を進めることができたと思います。また、昼食の無料サービスがあり、栄養面の管理もできたので、食事も精神面に大きく影響することを実感できました。

今後はドリームで経験したこと、学んだことを意識しながら、復職後も自分自身を受け入れ、ストレスとも上手に向き合って一歩ずつ前に進んでいこうと思います。今まで、何事も計算しながら感情を抑えていた私を、少し開放できるまで変化させてくれたワーキングケア「ドリーム」の皆様、本当にありがとうございました。



アクセス



〒534-0024 大阪市都島区東野田町5-3-33 分野病院5階
ワーキングデイクア「ドリーム」

見学予約はワケノ・クリニック リワーク担当まで。

☎06-6357-0007

リワークへの質問や確認は050-3533-3152まで。
企業様、支援者の方の見学も随時受け付けています。
お気軽にご連絡下さい。

メールでのご予約も可能です。
詳しくはホームページへ。

リワークスタッフブログはこちら。
最新情報を更新しています。



復職支援(リワーク)/就労・再就職支援 ワーキングデイクア“ドリーム”



医療リワークで
長く安定して働くための
再発予防対策を

医療法人(社団) 正正会
分野病院

ワーキングデイクアの特徴

POINT1 最大週5日8時間、フルタイムを想定

始めは少ない日数、短い時間から。
体調に応じて無理なく増やしていきます。

POINT2 実践的な模擬会社形式

職場を長期間はなれている方も、働く勘を取り戻しやすい、ブランクを埋めやすいです。
リワーク場面では失敗も保証します！

POINT3 医療リワークで再発予防対策を

プログラムや面談で自己理解促進。デイクアに在中の医師に困りごと相談できます。

利用料金

利用形態	社保・国保利用(3割)	自立支援医療(1割)
ショートケア (半日)	¥1,270	¥420
デイクア 9時～15時	¥2,470	¥820
デイナイトケア 9時～19時	¥3,490	¥1,160

昼食は無料サービス、夕食は200円で提供できます。(希望制)

自立支援医療制度とは？

継続的な通院が必要であると医師が判断した場合、自己負担額が軽減される制度です。社会保険の方は、**3割から1割負担**となり、世帯所得に応じて月々の上限額が設定されます。詳細は各市町村窓口、または当院受付にてお尋ね下さい。
※国民健康保険の方は負担額が発生しない助成制度あり(居住地による。対象外の場合は1割負担)

よくある質問

Q1:医療リワークでどんなことが期待できますか？

A. どのリワークにおいても、そこに通うことで生活リズムや体力の回復には一定の期待が見込まれます。医療リワークではそれに加えて「**再発予防**」、「**ご自身を大切にしながら長く安定して働いていく**」ことを重視し、病気と付き合いながらも自分らしい社会生活を送るための治療的なリハビリを行っています。当院では模擬業務練習や心理的プログラム、自己分析課題を通して、「**対人場面の練習**」「**回復状態の確認**」「**どんな認知的・行動的パターンがあるのか**」「**悪循環を繰り返さないためにどう考え行動するのか**」など、実践的な環境のもとで一緒に確認し、治療・支援を行います。
全員に同じマニュアル支援を行うのではなく、医師・看護師・精神保健福祉士・作業療法士・臨床心理士など多職種の医療スタッフと利用者様がチームを組み、**利用者さま一人一人のリワークでの取り組み方、道筋を決めていきます**。
卒業後も、安定した社会生活を続けるために定着支援(面談や認知行動療法など)が利用できます。

Q2:ある程度回復していないと利用できないのですか？

A. 当院リワークでは、リワーク担当医からの指示をベースに、一人一人に合わせて負荷のかけ方を調整します。日数や時間も最初は短いものから少しずつ増やしていくので、無理なく取り組むことが出来ます。主治医の許可が出ていること、服薬管理ができていること、デイクアのルールが守れる程度には安定していることなどが参加の要件となります。まだ精神症状が強い場合や睡眠が全くとれていないなどの場合は、まずは自宅や入院での療養・治療が必要となります。

Q3:復職を急いでいる、復職期限があまりないのですが利用できますか？

A. 本来、復職支援のリハビリ期間は3ヶ月以上を想定しています。ただし、現在の状況や体調などを聞き取り後、利用が出来る場合がありますので、見学時にご相談下さい。(短期間のリズム作りのみで良いなど)他院の方でも紹介状の取得が早ければ、当院の初診やリワーク開始にはそれほど時間を要しません。